

吸収分割に係る事前開示書類

(会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 192 条に基づく開示事項)

2022 年 2 月 23 日
株式会社ファーマフーズ

2022年2月23日

吸収分割に係る事前開示書類
(会社法第794条第1項及び会社法施行規則第192条に基づく開示事項)

京都市西京区御陵大原1番地49
株式会社ファーマフーズ
代表取締役社長 金 武祐

株式会社ファーマフーズ(以下、「吸収分割承継会社」といいます。)及び株式会社アンテグラル(以下、「吸収分割会社」といいます。)は、2022年2月23日付で締結した吸収分割契約書に基づき、2022年4月1日を効力発生日として、吸収分割会社が営むバイオサイエンス事業及びバイオサイエンス事業に必要な管理部業務部門の権利義務を承継する吸収分割(以下、「本吸収分割」といいます。)を行うことにいたしました。

本吸収分割に関する会社法第794条第1項及び会社法施行規則第192条に基づく開示事項は、以下のとおりです。

記

I 吸収分割契約の内容(会社法第794条第1項)

別紙1のとおりです。

II 会社法施行規則192条で定める事項

1. 会社法第758条第4号に掲げる事項についての定め相当性に関する事項(会社法施行規則第192条第1号)

吸収分割承継会社は、本吸収分割の対価として、吸収分割会社に金135,502,867円の金銭の交付をいたします。吸収分割会社は、資本関係のない当事会社間における事業の承継の手段として行われるものであることから、金銭を対価とすることが相当であると判断しております。また、本吸収分割において吸収分割承継会社が吸収分割会社に交付する金銭の額は第三者算定機関による算定結果、対象事業の状況及び将来の見通し等を総合的に勘案し、吸収分割承継会社及び吸収分割会社間における協議を経て決定されたものであり、相当であると判断しております。

2. 吸収分割会社についての事項(会社法施行規則第192条第4号)

(1) 吸収分割会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容(会社法施行規則第192条第4号イ)

吸収分割会社の最終事業年度(令和2年11月1日～平成3年10月31日)に係る計算書類等は別紙2のとおりです。

- (2) 吸収分割会社の最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容（会社法施行規則第 192 条第 4 号ロ）

該当事項はありません。

- (3) 吸収分割会社の最終事業年度の末日後に重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象が生じたときは、その内容（会社法施行規則第 192 条第 4 号ハ）

該当事項はありません。

3. 吸収分割承継会社についての事項（会社法施行規則第 192 条第 6 号イ）

吸収分割会社の最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はありません。

4. 本吸収分割が効力を生ずる日以後における吸収分割承継会社の債務の履行の見込みに関する事項（会社法施行規則第 183 条第 6 号）

本件吸収分割後の吸収分割承継会社の資産の額は負債の額を上回ることが想定され、また、本吸収分割後の吸収分割承継会社の収益状況について債務の履行に支障を及ぼすような事態は現在のところ予測されておりません。これらの点を総合的に勘案し、吸収分割承継会社の債務について、履行期における履行の見込みがあるものと判断いたします。

以上

別紙 1 吸収分割契約の内容（会社法第 794 条第 1 項）



吸収分割契約書

株式会社アンテグラル（以下「甲」という。）と株式会社ファーマフーズ（以下「乙」という。）は、甲が営む事業を乙が承継する吸収分割（以下「本件分割」という。）について、以下のとおり吸収分割契約（以下「本契約」という。）を締結する。

（目的）

第1条 甲及び乙は、本契約は、甲及び甲の私的整理手続における甲の事業スポンサーである乙との間で2022年1月14日付で締結されたスポンサー契約書（以下「本件スポンサー契約」という。）に基づく乙による事業再生支援の実行手段として締結するものであることを相互に確認する。

（吸収分割）

第2条 甲は、本契約の定めに従い、第4条で定める本件分割の効力発生日（以下「分割効力発生日」という。）をもって、会社法が規定する吸収分割の方法により、甲が営むバイオサイエンス事業及びバイオサイエンス事業に必要な管理部業務部門（以下「本件事業」という。）の権利義務を乙に承継させ、乙はこれを承継する。

（分割当事会社）

第3条 本件分割の当事会社の商号及び住所は次のとおりである。

（1）吸収分割会社（甲）

商号：株式会社アンテグラル
住所：徳島市南末広町4番53号

（2）吸収分割承継会社（乙）

商号：株式会社ファーマフーズ
住所：京都市西京区御陵大原1番地49

（効力発生日）

第4条 分割効力発生日は2022年4月1日とする。ただし、必要に応じて、甲及び乙が協議の上、これを変更することができる。

（対価の支払）

第5条 乙は、本件分割に際して、甲に対して交付する対価は、金1億4000万円とする。但し、乙は、別紙3記載の受注案件における売上総利益相当額である449万7133円を控除した残金を交付するものとする。

(承継する権利義務)

第6条 乙は、本件分割により、別紙1「承継権利義務明細表」記載の本件事業に関する資産、債務、雇用契約及び本件事業に必要なその他の権利義務を甲より承継する。

2 本件分割により甲から乙に移転する債務の全てについて、乙が免責的に債務引き受けを行うものとする。

(法的手続等の履践)

第7条 甲及び乙は、分割効力発生日の前日までに本件分割を実行するために必要な法律上の手続及び社内手続をすべて履践しなければならない。

(印紙の負担)

第8条 本契約書に貼付する印紙の費用は、乙が負担する。

(本契約の効力)

第9条 本契約は、効力発生日の前日までに第7条に定める甲及び乙の法的手続等が履践されていないときは、その効力を失う。

(本契約に定めない事項)

第10条 本契約に定める事項のほか、本件分割に関し必要な事項は、本契約及び本件スポンサー契約の趣旨に従い、甲及び乙が誠実に協議のうえで決定する。

(特約)

第11条 甲及び乙は、令和4年3月末日までに納品が完了していないにもかかわらず、得意先への請求書を発行済であり、委託先からの請求書を受領済である受注案件があることを確認し、これらについて分割効力発生日から3か月以内に別途精算合意するものとする。

本契約締結の証として、甲及び乙が各自記名押印のうえ本書1通を作成し、乙が原本を、甲が写しを保有する。

2022年2月 23 日

(甲) 吸収分割会社

徳島市南末広町4番53号

株式会社アンテグラル

代表取締役 岡部慎司



(乙) 吸収分割承継会社

京都市西京区御陵大原1番地49

株式会社ファーマフーズ

代表取締役 金武祚



承継権利義務明細表

乙（吸収分割承継会社）が、甲（吸収分割会社）から、本件事業に関する資産、負債その他これに付随する権利義務を承継し、その明細は、下記のとおりとする。

1. 承継する資産

(1) 流動資産

- | | | |
|------|-------------------|----------|
| ①製品 | バイオ事業に関係しないものは非承継 | その他は全額承継 |
| ②貯蔵品 | バイオ事業に関係しないものは非承継 | その他は全額承継 |
| ③仕掛品 | バイオ事業に関係しないものは非承継 | その他は全額承継 |
| ④原材料 | バイオ事業に関係しないものは非承継 | その他は全額承継 |

(2) 固定資産

- | | | |
|---------|-------------------|----------|
| ①有形固定資産 | バイオ事業に関係しないものは非承継 | その他は全額承継 |
|---------|-------------------|----------|
- なお、リース資産・負債・契約については、簿価計上していないものも含め、承継対象とする。
- | | | |
|-----------|-------------------|----------|
| ②無形固定資産 | バイオ事業に関係しないものは非承継 | その他は全額承継 |
| ③投資その他の資産 | 敷金は全額承継し、その他は非承継 | |

2. 承継する債務

(1) 流動負債

- | | |
|--------|------------------------------|
| ①未払費用 | 承継する従業員に係る日割り賃金債務は承継、その他は非承継 |
| ②リース債務 | バイオ事業に関係しないものは非承継 その他は全額承継 |
| ③賞与引当金 | 承継する従業員に係る全額承継 |

なお、上記以外の債務は一切引き継がない（租税債務、有利子債務、天田圭介弁護士及び株式会社南十字社メディアソリューションズにかかる債務は承継しない）。

3. 承継する従業員

別紙2「従業員目録」記載の従業員は、分割効力発生日において全員乙が引継ぎ、以後乙の従業員として雇用する。

なお、雇用条件は、甲の雇用条件と同水準以上とし、甲の従業員の甲における勤続年数は、乙において通算するものとし、クロージング日の前日時点での未消化有給休暇は承継する。

4. 承継する契約上の地位及び権利義務

クロージング前日時点で甲が有効に契約しているバイオ事業に関する契約に基づく契約上の地位

及び権利義務の一切（念のため、付言すると、別紙2記載の受注案件及び第11条記載の受注案件に関する契約に基づく契約上の地位及び権利義務の一切を含むが、売掛債権及び買掛債務は含まない。）

（ただし、金融機関、天田圭介弁護士及び株式会社南十字社メディアソリューションズとの間で締結された契約を除く。）

以 上



別紙2 吸収分割会社についての事項（会社法施行規則第192条第4号）

決 算 報 告 書

第 7 期

自 令和02年11月01日

至 令和03年10月31日

株式会社アンテグラル

貸借対照表

令和03年10月31日 現在

株式会社アンテグラル

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	203,587,473	【流動負債】	137,947,060
現金及び預金	33,555,992	買掛金（化粧品）	2,146,814
定期積金	1,200,000	買掛金（バイオ）	35,931,515
受取手形	3,230,938	短期借入金	7,513,255
売掛金（バイオ）	46,406,564	未払金	43,579,119
売掛金（HBC）	5,289,620	預り金	5,348,438
電子債権	159,503	未払消費税等	5,813,100
商品	32,852,666	未払法人税等	2,352,100
貯蔵品	443	仮受消費税等	35,262,719
仕掛品	10,089,008	【固定負債】	130,247,951
製品	4,218,517	長期借入金	87,484,038
原材料	5,490,049	社債	38,851,816
短期貸付金	8,130,261	長期預り保証金	50,000
未収入金	7,884,444	リース債務	3,862,097
仮払金	12,235,536	負債の部合計	268,195,011
仮払消費税等	29,362,284		
前払費用	3,481,648	純資産の部	
【固定資産】	43,217,540	科目	金額
有形固定資産	37,615,048	【株主資本】	△ 21,390,257
建物	14,441,333	資本金	10,000,000
建物附属設備	110,568	資本剰余金	14,679,966
機械装置	1	資本準備金	14,679,966
工具器具備品	268,426	利益剰余金	△ 46,070,223
車両運搬具	1	その他利益剰余金	△ 46,070,223
土地	20,900,000	繰越利益剰余金	△ 46,070,223
リース資産	1,894,719	（うち当期純利益）	△ 46,070,223
無形固定資産	2,592,492		
電話加入権	134,984		
ソフトウェア	776,208		
リース資産	1,681,300		
投資その他の資産	3,010,000		
投資有価証券	3,000,000		
出資金	10,000		
【諸口】	△ 259		
資金複合	△ 259	純資産の部合計	△ 21,390,257
資産の部合計	246,804,754	負債・純資産の部合計	246,804,754

損益計算書

自 令和02年11月01日

至 令和03年10月31日

株式会社アンテグラル

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
化粧品売上直販	35,010,298	
ﾊﾞｲﾄ受託売上高	181,013,302	
ﾊﾞｲﾄ製品売上高	42,583,042	
化粧品売上店販	533,471	
委託売上	6,046,829	
売上高	2,796,365	
ﾊﾞｲﾄ徳大売上高	72,548,680	340,531,987
【売上原価】		
期首商品棚卸高	453,526,530	
期首製品棚卸高	46,786,076	
仕入商品	2,665,472	
外注費（HBC）	1,043,790	
当期製品製造原価	197,319,230	
合計	701,341,098	
期末商品棚卸高	446,292,795	
期末製品棚卸高	47,499,520	207,548,783
売上総利益		132,983,204
【販売費及び一般管理費】		109,926,019
営業利益		23,057,185
【営業外収益】		
受取利息	330	
雑収入	3,763,194	
為替差益	81,235	3,844,759
【営業外費用】		
支払利息	2,144,432	
雑損失	5,175,742	
社債利息	682,643	8,002,817
経常利益		18,899,127
【特別利益】		
【特別損失】		
固定資産売却損	52,660,450	
再生費用	10,350,000	63,010,450
税引前当期純利益		△ 44,111,323
法人税等		1,958,900
当期純利益		△ 46,070,223

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和02年11月01日

至 令和03年10月31日

株式会社アンテグラル

(単位：円)

科目	金額	
【販売費及び一般管理費】		
役員報酬	9,159,600	
給与手当	30,403,625	
賞与	4,430,000	
法定福利費	9,337,614	
福利厚生費	452,123	
広告宣伝費	148,117	
旅費交通費	894,932	
通信費	2,877,876	
水道光熱費	2,343,130	
リース料	792,872	
地代家賃	2,244,868	
保険料	162,990	
租税公課	2,294,982	
支払手数料	6,098,645	
寄付金	22,760	
新聞図書費	3,400	
減価償却費	4,898,403	
貸倒損失	418,032	
雑費	307,162	
通勤費	1,062,660	
教育採用費	8,232	
外注費	1,952,163	
事務用品費	514,968	
消耗品費	2,028,872	
パート給与	9,984,283	
賃借料	9,000	
管理費	1,517,962	
維持修繕費	422,024	
システム維持費	5,659,755	
諸会費	155,433	
販売促進費	4,861,140	
運賃	4,246,125	
交際接待費	96,791	
研究開発費	115,480	
販売費及び一般管理費合計		109,926,019

製造原価報告書

自 令和02年11月01日

至 令和03年10月31日

株式会社アンテグラル

(単位：円)

科目	金額	
【材料費】		
期首材料棚卸高	43,034,652	
消耗材料費(受託)	4,593,717	
消耗材料費(製品)	3,295,667	
合計	50,924,036	
期末材料棚卸高	44,938,480	5,985,556
【労務費】		
【製造経費】		
リース料	12,960	
減価償却費	167,029	
維持修繕費	742,506	
為替差損	152,200	
賃借料	230,321	
OEM製品	4,496,815	
委託製品	9,378,739	
受託外注費	169,144,400	184,324,970
当期総製造費用		190,310,526
期首仕掛品棚卸高		206,121,930
合計		396,432,456
期末仕掛品棚卸高		199,113,226
他勘定振替高		0
当期製品製造原価		197,319,230

株主資本等変動計算書

自 令和02年11月01日

至 令和03年10月31日

		(単位：円)
株式会社アンテグラル		
株主資本		
資本金	当期首残高	105,127,950
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>10,000,000</u>
資本剰余金		
資本準備金	当期首残高	115,027,950
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>14,679,966</u>
資本金及資本準備金減少額	当期首残高	<u>4,422,869</u>
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	当期首残高	-199,898,803
	当期変動額	当期純利益 <u>-46,070,223</u>
	当期末残高	<u>-46,070,223</u>
株主資本合計	当期首残高	24,679,966
	当期変動額	<u>-46,070,223</u>
	当期末残高	<u>-21,390,257</u>
純資産の部合計	当期首残高	24,679,966
	当期変動額	<u>-46,070,223</u>
	当期末残高	<u>-21,390,257</u>

個別注記表

自 令和02年11月01日

至 令和03年10月31日

株式会社アンテグラル